

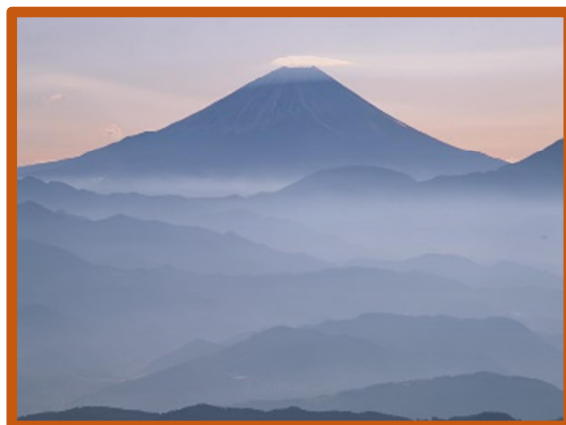


ノート指導を通じた授業改善

◆ 思考力・判断力・表現力を育む上で、ノートは極めて重要な働きをします。書くことは考えることであり、言語情報を操作する手段です。

◆ 「ノートは思考の足跡」です。

ノートの記述のうち、最も尊いのは子供自身の考えとその変容です。そのため、自分の考えは消さずに残し、補強や修正は色ペンを使うなどの工夫をさせたいものです。



◆ ノートはポートフォリオの機能を有し、学習履歴になります。また、子供たちの自己学習力を高め、生涯にわたり主体的に学ぶ基盤を築きます。

◆ 義務教育段階で重視したいのは、自立した学習者の育成です。ワークシートは授業の効率を高める一方、それを授業の主軸に据えると、子供の学びの自立性を阻むおそれも内包しています。先日参観した授業では、ワークシートはあくまで補助的な活用にとどめ、あらかじめノートに貼りやすく周囲をカットして配り、授業中に貼らせていました。

◆ 次に記すのは、授業改善につながるノート指導の例です。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ① 学習課題を書かせ、学ぶねらいを自覚させる。 | → 課題の明確化 |
| ② 既習事項等を活用して、自分の考えを書かせる。 | → 自己の考えの構築 |
| ③ 友達の考えの中で、参考になる考えを書かせる。 | → 考えの交流 |
| ④ 友達の考えを基に、自分の考えを加筆・修正させる。 | → 自己の考えの再構築 |
| ⑤ 学んだことや新たな課題等を書かせる。 | → 振り返り・新たな課題の発見 |

※ 本号でいう「ノート」は、1人1台端末のノート機能を含む。

挑む

大リーガー 大谷翔平

まったく違う環境に行くということは、どの分野でも不安なことが多いと思う。でも、さらに良くなる可能性がそこにあったら、僕はチャレンジしてみたい。

出典：「大谷翔平は、こう考える」（桑原晃弥著 PHP文庫）

※ まさに「チャンス、チャレンジ、チェンジ」の精神、素晴らしいですね。